

資料3

令和2年度食育推進事業「草津ベジランチ」 における事業評価とその課題について ～飲食店と連携した食育の推進～



(1) 飲食店と連携した取組の位置づけ



2

第3次草津市食育推進計画

基本方針2 『ささえる』

→ 健康づくりには、生活に関わる店舗等の食育の推進が重要

健康くさつ21(第2次)

重点施策5 企業、団体、大学等との多種多様な協働による健康づくり

健康づくりの情報を共有し、多種多様な主体の協働による健康づくりの取り組みがすすめられるよう、様々な視点で健康を捉えて連携する仕組みづくりも必要

→ 他機関、団体等との連携による情報発信を推進します

草津市健康都市基本計画

基本方針2 『ひとの健康づくり』

全世代に共通した健康づくり

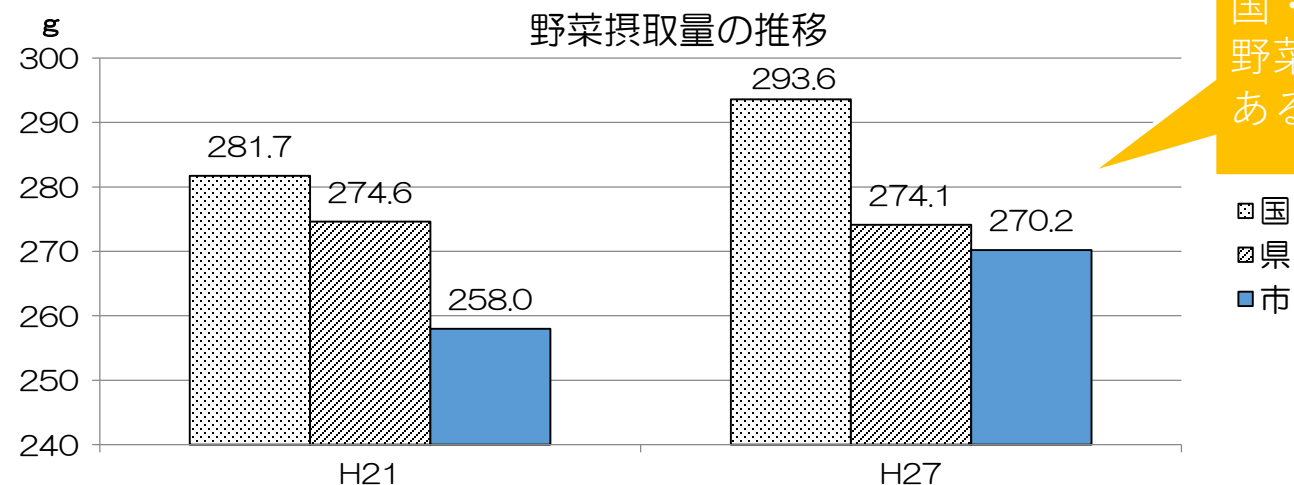
→ 飲食店等と連携した健康づくりの検討

飲食店に対し、アンケートを実施

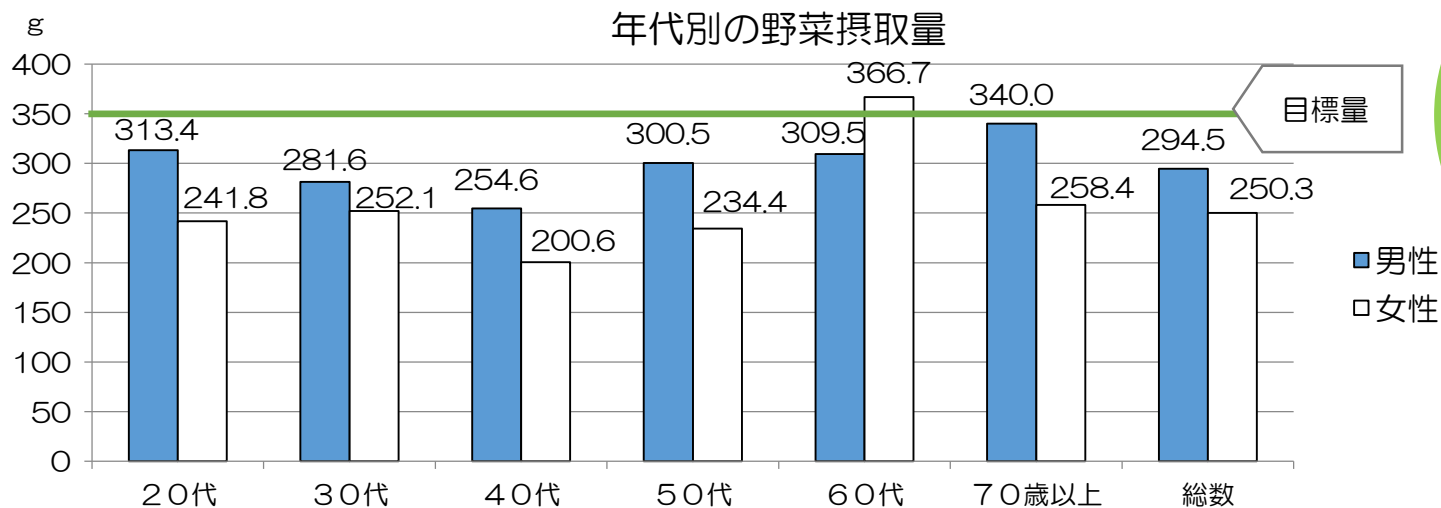
飲食店等と連携した取組を推進していくことを施策に反映

健康づくりが大切だと感じている飲食店がたくさんある！

(2) 草津市の食を取り巻く現状



国・県と比較して、草津市の野菜の摂取量は少ない現状にある



野菜摂取量の増加に向けた取組が必要！

飲食店と連携した取組へ

特に、20～50歳代の働き盛り世代において、野菜の摂取量が少ない結果であった

(3) 令和2年度 食育推進事業「草津ベジランチ」概要

目的

市民に対して健康づくりの機運を高めるとともに、その実践の環を広げることで、健幸にかかる環境整備の推進と健康増進活動の飛躍を目的とする。

実施内容

市内飲食店と連携し、野菜量が多いランチ(野菜の使用量可食部120g以上)を視覚・味覚共に楽しめるような草津ベジランチとして、飲食店にて提供していただく。市は各飲食店状況を取りまとめ、市民に周知することで、野菜の摂取量を増加させる機会を提供する。また、草津ベジランチマップを作成し、広く周知・啓発を実施する。

実践の環を
広げます!

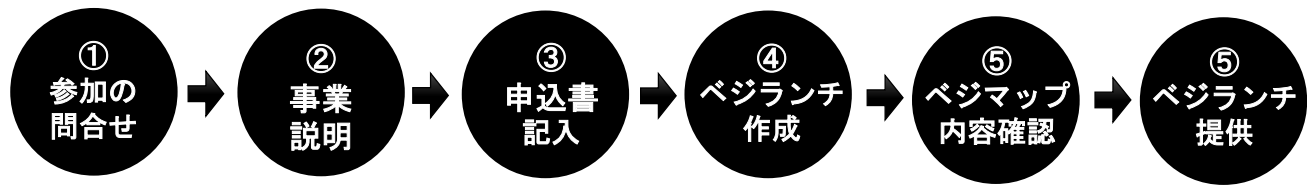
実施期間

令和2年11月14日～12月26日までの約1カ月半



(4) 令和2年度「草津ベジランチ」実施の内容

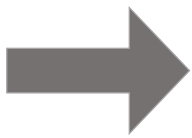
・取組に協力される飲食店を募集



26店舗が参加

・草津市の働きかけ

- 『草津ベジランチマップ』の作成
- 記者提供
- HPやSNSを用いた周知
- イベント等での情報提供
- キャンペーンの実施
- アンケートの実施



事業の概要・目的、参加される飲食店情報等が掲載された、周知媒体



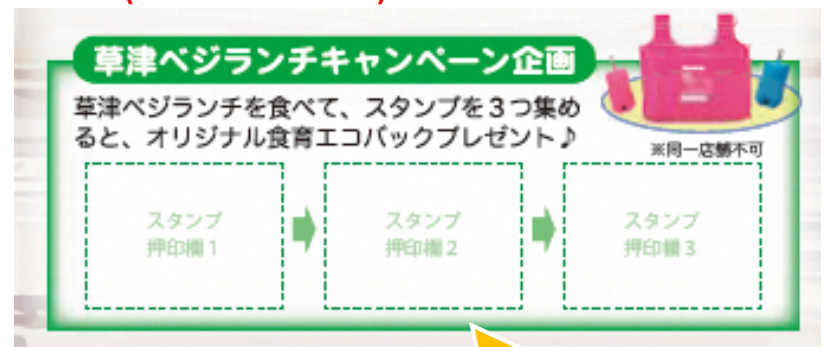
【工夫点】

- ・デザインの工夫
- ・飲食店の所在地の地図を作成
- ・草津ベジランチ写真を掲載
- ・野菜の目標量の啓発
- ・クーポン券の添付

(4) 令和2年度「草津ベジランチ」実施の内容

- 草津市の働きかけ
 - 『草津ベジランチマップ』の作成
 - 記者提供
 - HPやSNSを用いた周知
 - イベント等での情報提供
 - **キャンペーンの実施**
 - アンケートの実施(取組終了後)

3店舗行くと、
景品(エコバック)をプレゼント

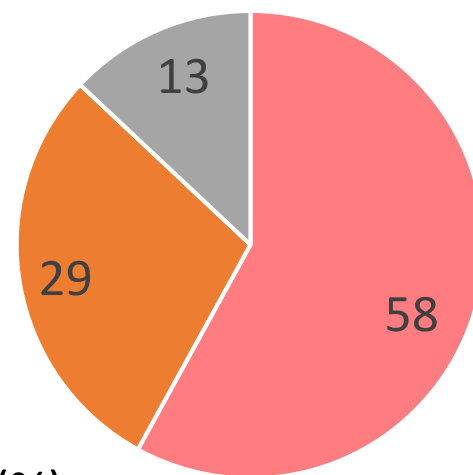


より広がりのある
取組を目指した

(5) アンケートの結果からみる事業評価

- アンケートに回答いただいた飲食店
24店舗 / 26店舗
- ベジランチの提供食数
約5,100食
- ベジランチのクーポン使用者数
約500名
- キャンペーン参加者
82名

客数の変化について



(%)

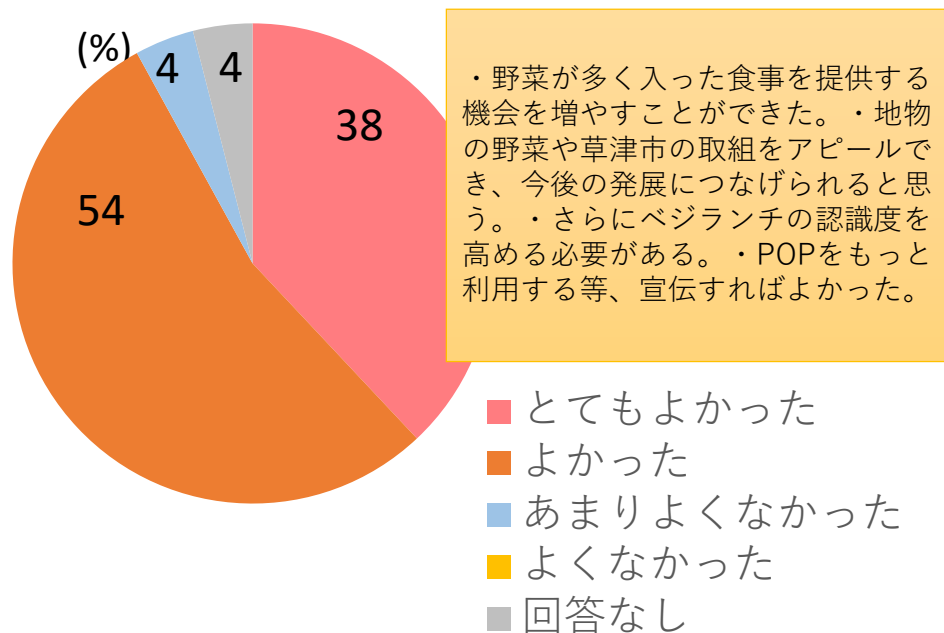
■ 変化なし ■ 変化あり ■ 回答なし

評価ポイント

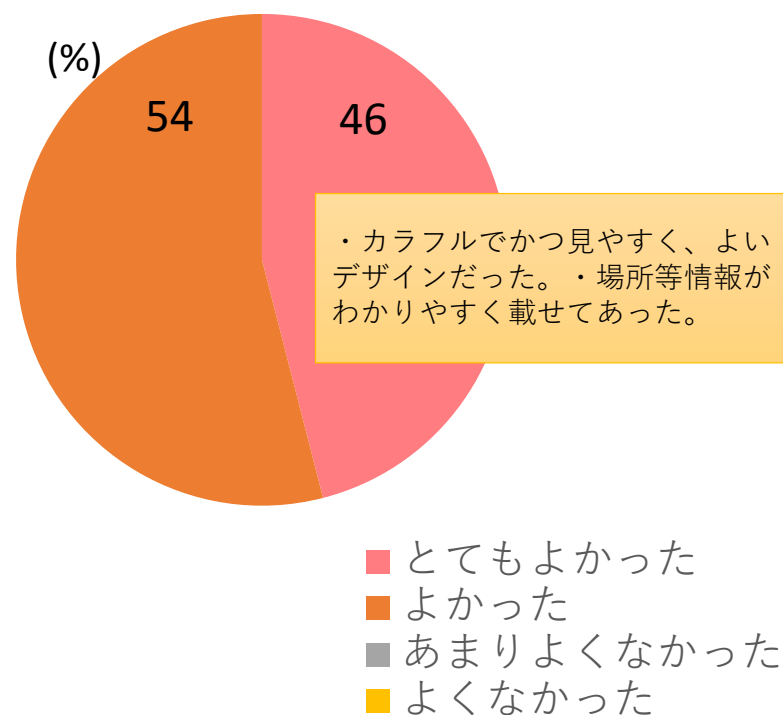
- 社会情勢の影響により、客数が減少した店もあった。一方で、特に50～60歳代の女性客が増加したという飲食店もあった。

(5) アンケートの結果からみる事業評価

Q. 『草津ベジランチ』に参加してどうでしたか



Q. 『ベジランチマップ』はどうでしたか



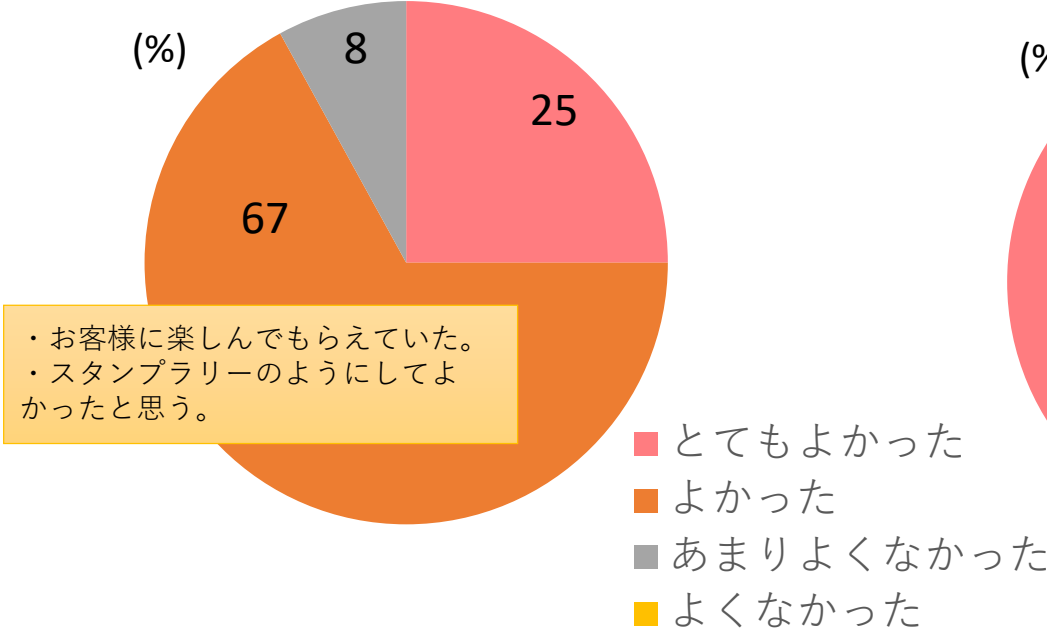
評価ポイント

- ・事業への参加について、「とてもよかった」「よかった」と回答した店舗が92%あった。
- ・『マップ』は全ての店舗で「よい」という評価が得られた。

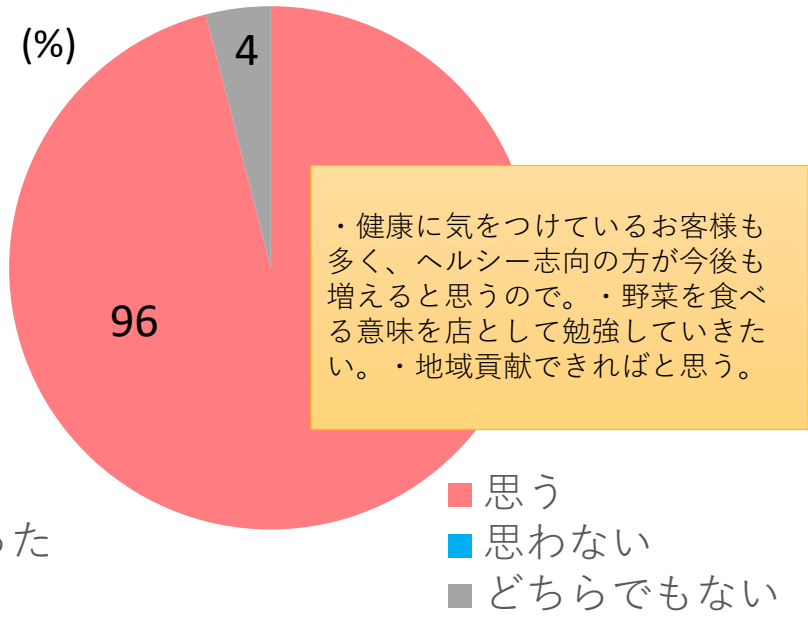
(5) アンケートの結果からみる事業評価

Q. スタンプキャンペーンを実施したことについてどうでしたか。

Q. 野菜がたくさん入ったメニューをこれからも続けていきたいと思いませんか。



・お客様に楽しんでもらっていた。
・スタンプラリーのようにしてよかったと思う。



・健康に気をつけているお客様も多く、ヘルシー志向の方が今後も増えると思うので。
・野菜を食べる意味を店として勉強していきたい。
・地域貢献できればと思う。

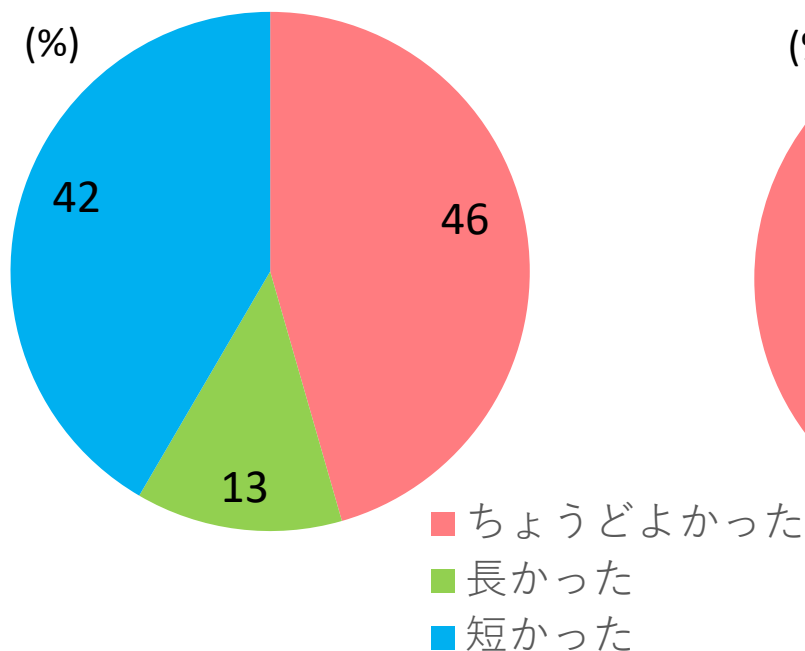


評価ポイント

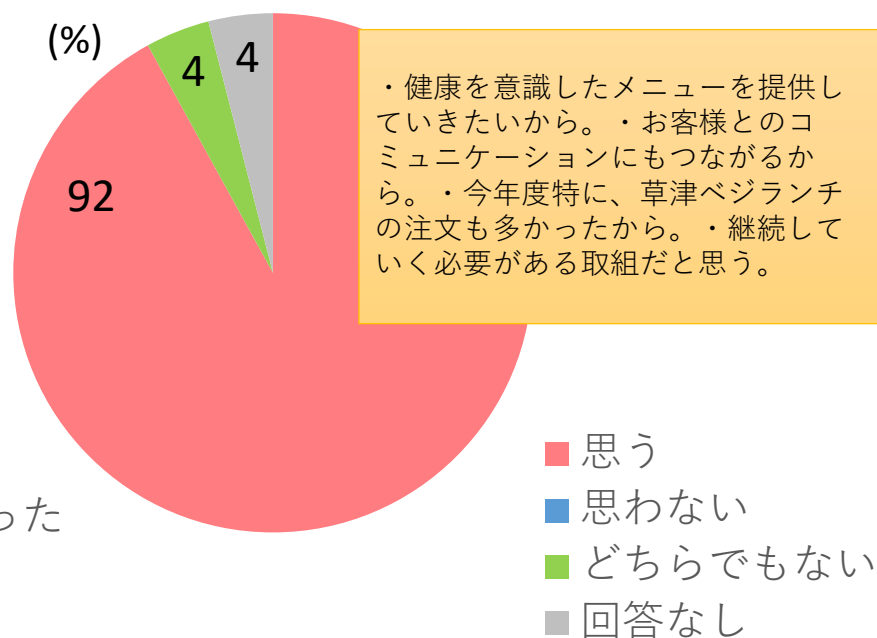
- ・スタンプキャンペーンの設定は、「よかった」という声が多かった。
- ・今後も「野菜がたくさん入ったメニュー」を続けていきたいと答えた飲食店は96%であった。

(5) アンケートの結果からみる事業評価

Q. 「草津ベジランチ」の実施期間について



Q. 来年度も「草津ベジランチ」があれば、参加したいと思いますか。

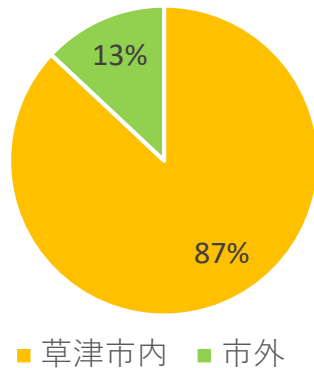


評価ポイント

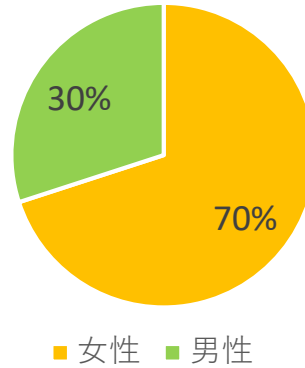
- ・実施期間は、46%がちょうどよいという回答だったが、期間が短いと回答した飲食店一定数見られた。
- ・来年度も参加したいと回答した飲食店は92%であった。

(6) アンケートの結果からみる事業評価

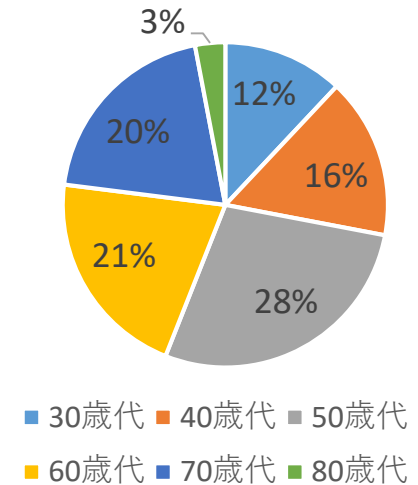
Q. 参加者の居住先



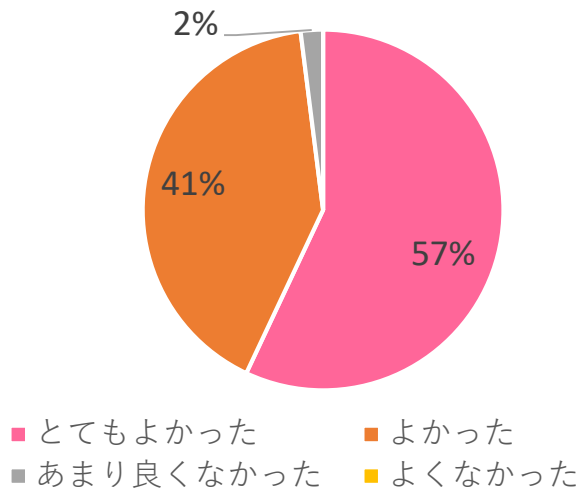
Q. 参加者の性別



Q. 参加者の年代



Q. 取組についての評価



【いただいた意見】

・野菜がたくさん食べられてよかった。外食で野菜不足を補えるのが良いと思った。・いろいろなお店を知ることができた。・お店に行くきっかけとなった。・手ごろな値段で美味しく、楽しくランチできた。・3か所まわればエコバッグがもらえてよかった。(5か所だったら難しかったと思う)・家から近いお店が多く、来店しやすかった。・ランチがおいしい他店も増えるとよい。・もう少し安い方が嬉しい。

(7) アンケート結果からわかること

飲食店が参加してよかったと感じていること

- ・ お店の周知につながり、野菜を食べてもらうことに繋がった
- ・ 今までお店を知らなかった人にお店を知ってもらえた
- ・ 市と協働した取組をすることができてよかった
- ・ 市民に対して、取り組みを提供することができ、またキャンペーンという形で、来られた人に還元する働きかけができた

改善点

- ・ 草津ベジランチの認識度を高める必要がある
- ・ お店でPOPを利用するなど、PRをすればよかった
- ・ ベジランチメニューをより充実させてもよかった
- ・ SNSを利用する等により、若い世代への周知を実施していくことが必要

(8) 「草津ベジランチ」の成果と課題

13



成果

- 飲食店を通して、広く市民に対し野菜の摂取量増加に向けた実践的な啓発(野菜の摂取目標量・野菜の食べ方等)をすることができた。
- 飲食店が積極的に野菜をメニューに取り入れ、それを市民が食べることで、健康増進のための食環境整備につながった。
- ベジランチマップ等によって、食育の取組に協力する飲食店の情報を市民に周知することができ、飲食店のイメージアップや地域資源の活性化に寄与した。

課題

- ベジランチをより多くの市民に知ってもらい、利用してもらう工夫が必要
- 飲食店の協力を一層得ていくことが広がりある取組として大切

(9) 「草津ベジランチ」に今後求められるもの

- ◆ベジランチをより多くの市民に知ってもらい、利用してもらう工夫が必要
- ◆飲食店の協力を一層得ていくことが広がりある取組として大切

【目指すところ】

多くの市民に対して、野菜の摂取量の増加を効果的に図り、生活習慣病の予防や健康寿命の延伸に寄与していく。

健康増進計画推進部会で、ご意見いただいた内容について

- ①現在の草津ベジランチの取組を多くの人に知ってもらい、利用してもらうためには、どのような工夫が必要か。
- ②草津ベジランチの取組を契機に、今後、野菜の摂取量の増加を図るため、飲食店とどんな取組があるか。

健康増進計画推進部会で、ご意見いただいた内容について

- ①現在の草津ベジランチの取組を多くの人に知ってもらい、利用してもらうためには、どのような工夫が必要か。

(一部抜粋)

- ・50～60歳代の女性が増えたというのは、健康への関心の高さもある。若い世代への働きかけを進めるのであれば、価格を安くしたり子ども向けメニューを作るとよい。
- ・HPやFace book ・ Instagram ・ BIWA-TEKU等を利用した告知を実施することも大切。
- ・テイクアウトメニューや弁当メニュー等を利用できるとよい。
- ・ランチの価格が高いところもあり、協力飲食店の客単価もあるため、全ての飲食店から協力してもらうのは難しい。例えば、テイクアウトのメニューをワンコインで提供する等、コンビニ弁当と同等の価格で提供できるとよい。

[今後の方針・考え方]

- ・今後も可能な範囲で積極的にSNSを活用し、健康推進アプリ「BIWA-TEKU」の利用とも併せた事業展開を実施していく。
- ・草津ベジランチについて対象や時代背景にあわせたメニュー設定等も検討する。

健康増進計画推進部会で、ご意見いただいた内容について

②草津ベジランチの取組を契機に、今後、野菜の摂取量の増加を図るため、飲食店とどんな取組があるか。

(一部抜粋)

- ・ベジディナーやベジモーニングの実施。
- ・30～40歳代で野菜の摂取量が少ないため、その世代へのアプローチが必要。
- ・飲食店によるキッチンカーの実施も、市民が手軽に利用できるのよい。
- ・飲食店が市民の反応をみれるとよい。また、飲食店への野菜の安定供給も必要と考えられる。
- ・飲食店向けの健康教室の開催や、飲食店での健康づくりのためのワークショップ等もよい。

[今後の方針・考え方]

- ・飲食店及び飲食店を取り巻く環境への働きかけ、具体的なメニュー展開の拡充について、飲食店と情報共有しながら、現状把握を実施した上で、今後の取り組みを検討していく。

(10) 令和3年度草津ベジランチの取組について

【令和3年度の主な取組方針】

- ◆ キャンペーン商品をより魅力的なものに変更。
- ◆ 地産地消の推進のため、草津市産の野菜の使用についてPRを実施。
- ◆ BIWA-TEKUとのコラボやSNSの積極的な活用を実施。
- ◆ 働く世代への働きかけとして、健康都市賛同事業所に対してのPRの実施。

【事業の結果と評価】

- アンケートに回答いただいた飲食店
22店舗 / 22店舗
- ベジランチの提供食数
約6,000食
- ベジランチのクーポン利用者数
約500名
- キャンペーン参加者
延べ58名



飲食店へ
の調査

Q 草津ベジランチに参加して

大変良い 36%

良い 41%

ふつう 23%

- ・草津市と連携して取組ができてよかった
 - ・草津市全体を盛り上げることに繋がれると思う
 - ・来店のお客様が広がった
 - ・知名度が低い
 - ・思ったより集客に繋がらなかった
- 等

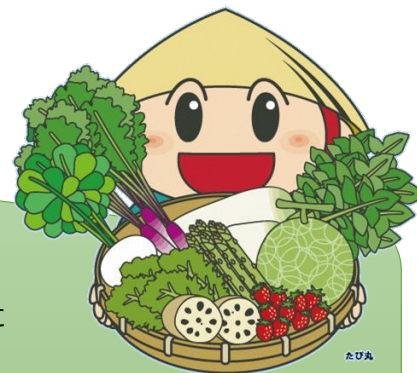
市民から
の評価

Q 草津ベジランチの取組について

とても良い 74%

良い 26%

- ・野菜をたくさん食べられるお店を知ることができる
 - ・今まで知らなかったお店や、気になっていたお店に行くきっかけになった
 - ・野菜を食べることができて、健康につながる取組ができた
 - ・友達・家族で「食」について語る良い機会になった
 - ・畑の作物が新鮮で地元の野菜を沢山食べられる草津市ならではの企画、子どもと楽しめた
 - ・今回も良かったです、過去の方がお得感が大きかったように感じる
- 等



【令和4年度の取組に向けた方向性】

生活習慣病予防のための食育の推進を主体として、令和3年度の実施内容を評価検討し、飲食店とも情報共有しながら、社会情勢にあわせた効果的な実施内容に取り組んでいく。